

日本建築学会東海支部  
**三重支所会報**

Architectural Institute of Japan



2002年1月発行  
(社)日本建築学会東海支部三重支所  
〒514-8507 津市上浜町1515  
三重大学工学部建築学科内  
TEL 059-231-9666 FAX 059-231-9452

### ごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には日頃より当支所の活動・運営にご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。新役員によって運営委員会が構成されて半年近くになろうとしております。これまでは、前任の中祐一郎支所長のもとで既に計画された行事をこなしていく段階でしたが、そろそろ新役員が計画段階から本格的に活動する時期に入ってきたと気を引き締めております。

本会報にもごございますように、三重支所が関わる催し物が今年度中にもいくつか計画されております。今年からは、より多くの方々に支所の活動を知っていただき、かつご参加いただくために東海支部のホームページ(<http://news-sv.aij.or.jp/tokai/events.html>)にも随時情報を掲載するように努めております。時々覗いていただければ幸いです。

本年も会員の皆様の一層のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。また、今後とも支所活動へのご協力・ご参加を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

日本建築学会東海支部三重支所支所長 畑中重光  
(三重大学工学部建築学科教授)

### 講演会報告

去る2001年10月6日(土)に三重県総合文化センターで予定されておりました、高橋晶子氏(ワークステーション代表)の講演会が、都合により開催日時場所を2001年10月20日(土)に三重大学講堂小ホールに変更して行われました。演題は「建築を作りながら感じたこと」、参加者は支所会員を含む103名で、講演後も活発な質疑が行われました。

主催：三重大学工学部建築学科

共催：日本建築学会東海支部三重支所



講演中の高橋氏

### 見学会報告

去る2001年10月27日(土)、支所主催の「旧崇廣堂と上野市内見学会」が行われました。講師として菅原洋一氏(三重大学地域共同研究センター助教授)をお招きし、貸し切りバスにて上野市へ移動した後、徒歩で見学を行いました。見学先は、「上野高校本館」(県指定文化財)、「崇廣堂」(国指定史跡)、「旧小田小学校」(県指定文化財)および、「上野城跡(俳聖殿)」。通常公開されていない建物が見学できる良い機会ということもあり、参加者は支所会員を含む60名と盛況でした。また、参加者からは、「講師の解説付で建物の見学ができて非常に有意義でした」等の意見が多数寄せられました。



崇廣堂で講師の解説を聞く参加者

### 特別講演会のお知らせ

以下の通り、建築学科主催の講演会を行いますので、お誘い合わせの上ぜひお越しください。

演題：「フラードームと21世紀」

講師：阿竹克人氏(有)阿竹空間設計研究所

日時：2002年1月30日(水)14:00～16:00

場所：三重大学工学部17番教室

概要：フラードームやユニットバスそして宇宙船地球号という言葉を生み出したアメリカの奇オバクミンスター フラーの最大規模の展覧会が21世紀の幕開けの今年(2001年)日本を巡回している。その名古屋展に自らもたためるジオデシックドームを展示し、ジャパニーズフラードームを標榜する講演者が、フラールの生涯と業績をふり振り返りながら、その21世紀における意味を問い直す。

参加費：無料(申込不要)

主催：三重大学工学部建築学科

後援：日本建築学会東海支部三重支所

支所活動に関するお問い合わせ

事務局窓口：三重大学工学部建築学科事務室(059-231-9666)

庶務担当幹事：川口 淳(工学研究科循環システム講座)

会見担当幹事：松浦健治郎(工学部建築学科)